

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 日本語

科目 日本語コミュニケーションI

教科：日本語

科目：日本語コミュニケーションI

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組 在京生

教科担当者：（日本語支援員）

使用教科書：（ワークシート）

教科 日本語

の目標：

【知識及び技能】日常生活で頻出する主な漢字の読み書きができ、語彙をほぼ理解して使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】基本的な語句を使い自分の考えを書くことができ、他者の話を聞いて自分の意見を伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができ、他者と協働して課題に取り組むことができる。

科目 日本語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校生活や進学、日本語能力試験に対応できる日本語力（読み・書き・話す）を身につける	日本語能力やコミュニケーション能力を高める。日本語能力試験N5～N2程度の内容を理解し解くことができるようになる	周りと協力しながら、自ら課題を見つけ積極的に取り組むことができる。学んだ日本語を使って、コミュニケーションをとる力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	N5～N4レベルの 日本語語彙、文法 日本語読解、聴解、会話 日本語能力試験対策	○個々の日本語能力に応じた指導 ・相手の平易な日本語を聞き取り、自分の言いたいことを日本語で表現しようとすることができる。 ・授業で使われる日本語のポイントを聞き取り、発言し、教科書をゆっくり読み、ノートやプリントに写すことができる。 ・さまざまな教科の基本的な用語が理解できる。	評価の観点 ・日本語能力がどの程度向上したか ・コミュニケーション能力がどの程度向上したか ・意欲的に授業に取り組んできたか 評価方法 ・授業態度 ・家庭学習 ・提出物 など	○	○	○	24
2 学期	N5～N3レベルの 日本語語彙、文法 日本語読解、聴解、会話 日本語能力試験対策	○個々の日本語能力に応じた指導 ・相手の日本語をおおまかに聞き取り、自分の言いたいことを日本語で表現することができる。 ・授業で使われる日本語をおおまかに聞き取り、発表し、教科書を読み、ノートを授業中に取ることができる。 ・さまざまな教科の専門用語が理解できる。	評価の観点 ・日本語能力がどの程度向上したか ・コミュニケーション能力がどの程度向上したか ・意欲的に授業に取り組んできたか 評価方法 ・授業態度 ・家庭学習 ・提出物 など	○	○	○	30
3 学期	N5～N2レベルの 日本語語彙、文法 日本語読解、聴解、会話 日本語能力試験対策	○個々の日本語能力に応じた指導 ・相手の日本語を大体聞き取り、自分の言いたいことを日本語で伝えることができる。 ・授業で使われる日本語を大体聞き取り、積極的に発表し、教科書を正しく読み、ノートを工夫して取ることができる。 ・さまざまな教科での調べ学習やプレゼンテーションなどの活動ができる。	評価の観点 ・日本語能力がどの程度向上したか ・コミュニケーション能力がどの程度向上したか ・意欲的に授業に取り組んできたか 評価方法 ・授業態度 ・家庭学習 ・提出物 など	○	○	○	16
合計							70